

蘇南中だより



自己を生かす生徒

助け合い励まし合う

知恵を働かす

たくましくやりぬく

令和7年10月31日発行

多文化共生防災キャンプへのご参加 ありがとうございました

PTA会長 河村 栄一

先日行われました蘇南中学校PTA・今渡自治連合会共同開催の「多文化共生防災キャンプ」には、多くの生徒の皆様、保護者の皆様、地域の皆様にご参加頂き、誠にありがとうございました。またPTA本部役員や教職員の皆様、たくさんのボランティアスタッフの方々から多大なご協力頂き、心より感謝申し上げます。

今回の企画は岐阜県が公募する「政策オリンピック（地域住民参加型訓練促進事業）」の一環として計画し、PTAと地域が連携して可見市防災安全課や多くの方々のご協力を頂いて実現する事が出来ました。また、市外の方々や校区外の方々にもご参加頂き、非常に有意義な企画とする事が出来ました。今回の目的は生徒たちや保護者の皆様、地域の方々の防災力向上だけでなく、日常では接する事の少ない地域の方々との連携による地域力向上や、協力し助け合いながら作業を進める経験が出来れば良いと考えておりました。また、生徒たちには小学校までの守られてきた、助けられてきた立場から中学校生活の3年間で守り助ける事が出来る人間への成長という事を期待しておりました。

当日は天候が不安定でしたがスタッフの皆様の迅速な対応のおかげで、予定通り準備を進める事が出来ました。1,000人分の防災カレー炊き出し体験では、先生方と生徒たちが中心となって作って頂き、配布が始まった時には大行列となりましたが、非常に手際よく短時間で何百ものカレーを配布してくれました。校庭でのフランクフルトの配布では生徒たちが残りの本数を大声で伝え、スマートフォンのライトとペットボトルの水を活用して暗い校庭でも分かりやすく伝える工夫をしていたのには本当に感心しました。また、本部テントでの防災食や保存水の配布では、スタッフの保護者の方と生徒たちで大量のペットボトルをリヤカーで配布を切らさない様に汗だくになりながら運んで見事合計3トンの保存水を使い切る事が出来ました。盆踊りでは本当に大勢の生徒たちと先生方、ボランティアスタッフで盛り上げて頂き、実際に災害が起きた時の復興に役立つものになるのではと思いました。全員が実践しながらの行動をする事で生徒たちだけでなく、我々大人の立場としても非常に学びや気づきが多く、実際に体験しながら学ぶ、貴重な機会になったのではと感じております。また今回の生徒たちの姿を見て、助けてもらっていた幼き頃の面影はどこにもなく、人を助け地域に貢献出来る立派な人間に成長していた事を本当に嬉しく思います。これだけ立派に自分たちで考え能動的に行動出来るようになれば、地域としてもいざという時の大きな戦力になると頼もしく感じております。蘇南中学校が掲げる「生徒たちの力を育てる」目標に対し、日常では体験出来ない様々な「力」の成長を生徒たち自身も保護者の皆様も感じて頂けたら幸いです。



防災力というのは、日常の生活の中では向上に繋げるのに容易な事ではなく、非常に難易度の高い取り組みだと感じております。今回の「多文化共生防災キャンプ」に参加して頂いた生徒たちだけでなく保護者の皆様、教職員の皆様にとっても今後を考える良い機会になったと感じて頂ければ嬉しく思います。

繰り返しになりますが参加頂いた生徒の皆様、保護者の皆様、ご協力頂いたボランティアスタッフの皆様、地域の皆様、そして中心になってご尽力頂いた先生方やPTA本部役員の皆様には心より感謝申し上げます。これからも、学校・家庭・地域が連携して、楽しみながら安全・安心な環境が構築出来る様な取組を進めていきたいと思っております。